

「人とくるまのテクノロジー展 2019 横浜」および 「メンテナンス・レジリエンス TOKYO2019」への出展

大仁 雄一^{*1} 西垣 寛政^{*2}
Oni Yuiti Nishigaki Hiromasa

1. 人とくるまのテクノロジー展 2019 横浜

2019年5月22日(水)～24(金)の3日間、パシフィコ横浜にて開催された「人とくるまのテクノロジー展 2019 横浜」(主催:公益社団法人自動車技術会)にジャプス部とともに出展した。

本展示会は、世界から最新技術・製品が集う自動車技術者のための日本最大の技術展である。出展企業は大手完成車メーカを始め、部品メーカ、その他業界(ドローン、3次元計測他)など多岐にわたり、今年の総出展社数は624社に上った。総入場者数は95,900名となり、過去最多を記録した。幸いにも開期中3日間は晴天に恵まれ、IICブースにも多数の来場者にお立ち寄りいただき、134名の方々から名刺をいただいた。

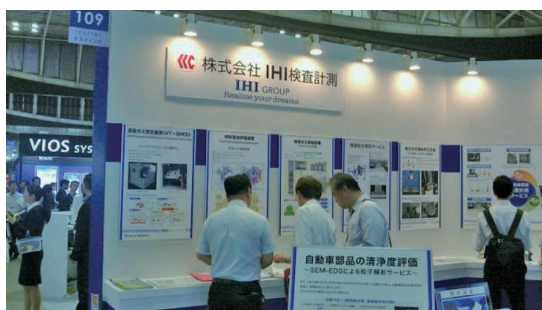


写真1 人とくるまのテクノロジー展 2019 横浜

「環境」・「FCV(燃料電池自動車)」・「新素材」関連の検査計測に対応可能なジャプス部含めたIIC全体の各種技術をまとめた「自動車関連検査計測サービス」などのパネルと高速AE計測システム「AMSY-6」などの実機を展示した。中でも、本展示会で初めて紹介した「SEM-EDSによる粒子解析サービス」は、検査会社として業界に先駆けいち早く導入したものであり、粒子(微小異物)を回収したメンブレンフィルタと分析した際のPC上の実計測画面(キャプチャ)をパネルとともに展示PRしたところ来場者の関心も高く、自動車関連業界にニーズがあることが伺えた。

また、高速AE計測システム「AMSY-6」と鋭敏化度測定器「DOS テスター® D-15M」については、パネルとともに実機を展示した。とくに「AMSY-6」は、AE計測により複合材の機械試験等で有用なデータを取得できることもあり、来場者の関心が高かった。実演することにより、AEをご存じでない来場者に対してもイメージをつかんでもうことができた。IICは、機器販売から持込み計測、出張計測、データ解析サポート等AE全般に広く対応している旨を説明した。

「残留応力測定サービス」のパネルに、穿孔法、X線残留応力測定、Contour法などの計測サービスをまとめて掲載したこともあり、パネルの前で立

*1: 営業統括部 第二グループ
*2: 営業統括部 第一グループ

ち止まる来場者が多く、アンケート集計では「残留応力測定サービス」が今回の展示内容で一番関心度が高い結果であった。

ジャプス部関連ではパネルで「燃料電池評価装置」、「蒸散ガス測定装置 VT-SHED」、「標準ガス設備(ガスボンベ管理システム)」を紹介したところ、燃料系部品から発生・透過する炭化水素(HC)の計測受託試験の問い合わせを受け来期受注に向けてフォロー活動を展開中である。

打合せ希望等優先順位の高い来場者を中心に、PR訪問等実施しており、また、アンケート情報を基に「どの業界」が「何の項目」に関心があったのかを取りまとめ、新たな案件発掘および受注拡大に向けた営業活動を展開している。

今回の出展で、累計出展回数15回を達成した功績を称えられ、公益社団法人自動車技術会より表彰状と記念盾が贈呈されたことを報告しておく。

[IICの出品品]

- ・ 自動車関連検査計測サービス (パネル展示)
- ・ SEM-EDSによる粒子解析サービス (パネル・実物展示)
- ・ 残留応力測定サービス (パネル展示)
- ・ 複合材の機械特性評価サービス (パネル展示)
- ・ 高速 AE 計測システム「AMSY-6」 (パネル・実機展示)
- ・ 鋭敏化度測定器「DOS テスター® D-15M」 (実機展示)
- ・ 蒸散ガス測定装置「VT-SHED」 (パネル展示)
- ・ 燃料電池評価装置 (パネル展示)
- ・ 標準ガス設備 (パネル展示)



写真2 記念盾授受
(右：公益社団法人自動車技術会 会長 坂本氏)

2. メンテナンス・レジリエンス TOKYO2019

2019年7月24日(水)～26日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて開催された「メンテナンス・レジリエンス TOKYO2019(プラントメンテナンスショー)」に出展した。

本展示会は、一般社団法人日本能率協会が主催する「プラントメンテナンスショー」、「インフラ検査・維持管理展」、「非破壊評価総合展」、「建設資材展」、「事前防災・減災対策推進展」、「労働安全衛生展」、「i-Construction 推進展」、「再資源化・産業廃棄物処理展」の計8つの専門展示会と特別企画「工作機械の予知保全・メンテナンス特集」、「現場支援システム・ツール特集」で構成される総合展である。

IICが出展した「プラントメンテナンスショー」は、工場設備の維持管理・保全技術を対象にした国内唯一の専門展示会で、110社が出展していた。

今回 IIC が提供する 3 次元形状計測サービスを一覧表にまとめたパネルとカタログを新規に作成し、展示・配布した。測定範囲／測定精度／適用計測手法を一目でわかるように図示し手法ごとの主な用途を記載するとともに計測結果を基に構造解析等も実施できることをうたったものであり、ニーズに合った計測手法の選択がたやすくていいことから好評であった。

また、鉄鋼構造物に発生する表面きずを、塗膜を剥離せずに検査可能な「Mobile EDDy®」、オーステナイト系ステンレス鋼の耐食性を評価するため鋭敏化度を測定する「DOS テスター® D-15M」、センサに光ファイバーを利用した油膜・漏油検知器「オイルリークモニタ」、CFRP 等の複合材の損傷発生検知にも適用が可能な高速 AE 計測システム「AMSY-6」等の実機を展示し、会場でデモを実施した。実際に体験していただくことで、多くの質問を受けることができ、展示会において実機展示が有効であることを再確認できた。

薄い物から厚い物(鉄換算で最大厚さ 400mm)まで検査可能な「X 線検査サービス」、レーザー光による非接触表面処理装置「レーザクリア® LE-100-01」についても、多くの興味・関心が集まり、幅広いメンテナンスニーズの高まりを感じることができた。

また、本展示会では IoT とメンテナンスを組み合わせたサービス、実機が多数展示・紹介されており、IoT がメンテナンスニーズに組み込まれ、現場で利用される時代になりつつあることを実感した。

会期中は晴天に恵まれ、3 日間での来場者は 45,199 名と盛況であり、IIC ブースには約 160 名の方が来場された。来場者の業種は設備保全、産業機械・機械部品、土木・建設、エンジニアリングを中心に多岐にわたり、多くの分野の企業へ IIC の技術と製品を PR することができた。

IIC ブース来場者の中から展示会での質問内容、打合せ内容に基づき優先順位をつけ、順次訪問および PR といったフォローをし、新案件発掘をする。

[IIC の出展品]

- ・ 携帯型渦流探傷装置「Mobile EDDy®」
(パネル・実機展示、実演)
- ・ 高速 AE 計測システム「AMSY-6」
(パネル・実機展示、実演)
- ・ 鋭敏化度測定器「DOS テスター® D-15M」
(パネル・実機展示)
- ・ 非接触表面処理装置「レーザクリア® LE-100-01」
(パネル・PR 動画展示)
- ・ 高性能油膜・漏油検知器「オイルリークモニタ」(パネル・実機展示)
- ・ 残留応力測定サービス (パネル展示)
- ・ X 線検査サービス (パネル展示)
- ・ 3 次元形状計測サービス (パネル展示)

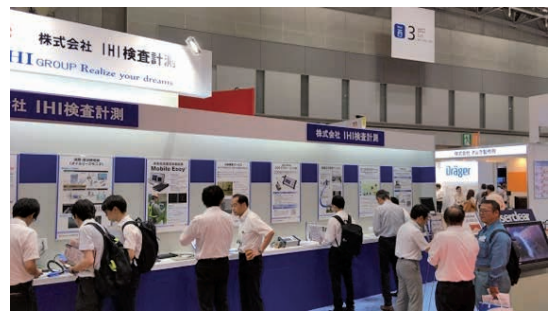


写真3 メンテナンス・レジリエンス TOKYO2019



営業統括部
第二グループ
大仁 雄一
TEL. 03-6404-6198
FAX. 03-6404-6044



営業統括部
第一グループ
西垣 寛政
TEL. 03-6404-6185
FAX. 03-6404-6044